

サイエンスアゴラ 2016

(年次総会)

公募企画 募集要項

【第3版】



Science Agora



国立研究開発法人

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

開催までのスケジュール（予定）

4月22日（金） : 公募説明会

6月1日（水）正午 : 公募締切

6月中 : 公募選考

6月末 : 採否（内定）の連絡

7月下旬～8月上旬 : 企画提供者説明会（会場下見）

: 企画提供者マニュアル配布

8月中旬 : プログラムおよびウェブサイト掲載情報の提出

9月1日（木）～ : ウェブサイトへのサイエンスアゴラ2016（年次総会）企画内容掲載

11月3日（木・祝）～6日（日） : サイエンスアゴラ2016（年次総会）開催

サイエンスアゴラ 2016（年次総会）

公募企画 募集要項

目次

サイエンスアゴラ 2016（年次総会）の開催にあたって	3
1. 概要	4
1. 1 開催趣旨	4
1. 2 サイエンスアゴラのビジョン	7
1. 3 サイエンスアゴラ 2016（年次総会）のテーマ	7
1. 4 開催概要	10
2. 応募要項	12
2. 1 応募資格	12
2. 2 実施日程	12
2. 3 実施会場	12
2. 4 会場利用料	13
2. 5 応募方法	13
2. 6 選考・結果通知	14
2. 7 選考基準	14
2. 8 応募から採択実施までのスケジュール	16
2. 9 応募形式	17
2. 10 事前申請/制限事項	23
2. 11 応募に関する注意事項 他	26
3. その他	27
3. 1 個人情報の取り扱い	27
3. 2 お問い合わせ	27
資料 1：企画タイトル・企画提供者名の表記は統一ルール	28
資料 2：企画応募フォーム	29

サイエンスアゴラ 2016（年次総会）の開催にあたって

サイエンスアゴラは 2006 年の第 1 回から回を重ね、昨年で 10 回目を迎えることができました。この場をお借りして、サイエンスアゴラをこれまで支えてくださった皆様方に深く感謝申し上げます。

さて、2011 年の東日本大震災から早 5 年の月日が経過致しました。被災地では今も多くの方々が復興と新しい社会の創生に向けて日々努力を重ねられています。私たちは、震災によって自然の脅威に対して科学技術だけでは解決できないことがあまりにも多いことを改めて学びました。私たちはこの震災で何を克服したのか、また何を解決できず、残された課題は何なのか、この節目の年のサイエンスアゴラを開催するにあたり、改めて現実と真摯に向き合い、対話する場にしたいと考えています。

サイエンスアゴラは、「つくろう、科学とともにある社会」をビジョンとして掲げています。このビジョンには、「あらゆる人の力で、社会のために科学を変革し、対話を通じて社会の期待に応えながら、これからの社会をつくり進めたい」との思いがこめられています。科学を変革するのも、社会の期待に応えるのも、主役はあらゆる人たちです。

科学技術振興機構が目指す「未来共創イノベーション」は、科学の知を社会的な価値に転換していくことにより、近未来の社会をより希望に満ちたものにしようとの心から掲げられました。これには多くの皆様との協力が不可欠です。サイエンスアゴラは、対話を通じて科学と社会のこれからを皆で考え、相互理解、信頼、そして協力を生み出す場です。私たちは、未来共創イノベーションを目指し、これまでに以上に多くの皆様と共にサイエンスアゴラを育てていきたいと考えています。

サイエンスアゴラが、国内外で活動するさまざまな人たちが集い、社会と科学技術の未来について共に考え、語り合い、未来の社会をつくり進める広場となるよう、力を合わせていきましょう。

国立研究開発法人科学技術振興機構

理事長

濱口道成

1. 概要

1. 1 開催趣旨

§サイエンスアゴラとは

サイエンスアゴラとは、あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。サイエンスアゴラは、異なる分野・セクター・年代・国籍を超えた関係者をつなぎ、さまざまな人たちが各地で主体的に推進する活動の広場です。この広場に集まる人たちが多様な価値観を認め合いながら、対話・協働を通じて、これからの「社会とともにある科学」と「科学とともにある社会」の実現を目指します。

サイエンスアゴラに集う活動の要件は以下の5つです。

- (1) 社会とともにあること、社会のためにあること
- (2) 科学技術に関すること
- (3) 自発的であること
- (4) 多様な人とのつながりを大切にすること
- (5) 公開できること



科学技術振興機構は、2006年よりサイエンスアゴラを開始し、これまで10年間、年に一度開催してきました。2016年は11回目の開催となります。今年、私たちはサイエンスアゴラを「科学技術振興機構が主催する年に一度のイベント」から、「いつでもどこでもつくられる皆の活動の場」に発展させるため、同じ問題意識を持って努力されている各地の方々とのネットワークの形成に取り組みます。国内外で問題の解決や新しい社会的価値の創出に向けて自発的に取り組んでいる方々とのつながり、お互いの活動を伝え合い、学び合い、助け合っていきたいと考えています。各地で自発的な取り組みがいつでも生まれ、助け合いの輪がどこまでも広がっていく社会を目指します。

また、これまで毎年開催してきたサイエンスアゴラを「年次総会」と今年から位置づけ、国内外からサイエンスアゴラ関係者が集い、お互いの一年の活動を振り返り、総括し、次の活動につなげる新しいテーマを共有する場に

していこうと考えています。また、お互いの活動の仲間を募り、発展させ、さらには行動を起こそうとする人を新しく生み出す場ともしていきたいと考えています。サイエンスアゴラのネットワークを広げ、年次総会を皆さんとつくる広場にしていこうと思います。

(注) この募集要項では、「科学」という言葉を、科学を基礎とした技術と技術への応用を志向した科学を含む、人類の知的探求活動とその成果の総体をさす意味で用いています。一般に用いられる「科学技術」と同じ意味です

§サイエンスアゴラ 2016（年次総会）への期待

サイエンスアゴラの年次総会として、サイエンスアゴラ 2016（年次総会）を開催します。

これからのサイエンスアゴラは、従来以上にますます、科学と社会の対話促進のためのプラットフォームとして機能し、多様な関係者が対話・協働し、それらを政策形成への提言や課題解決、知識創造へと結び付ける「共創」を推進します。

サイエンスアゴラでは、「多様な関係者」を「行政」、「科学者」、「事業者」、「メディア」、「市民」の5つのグループに分類しています（図1）。これらの1つのグループが、それぞれ異なる役割を担い、それぞれの立場で社会と科学をつなげることを期待しています（表1）。

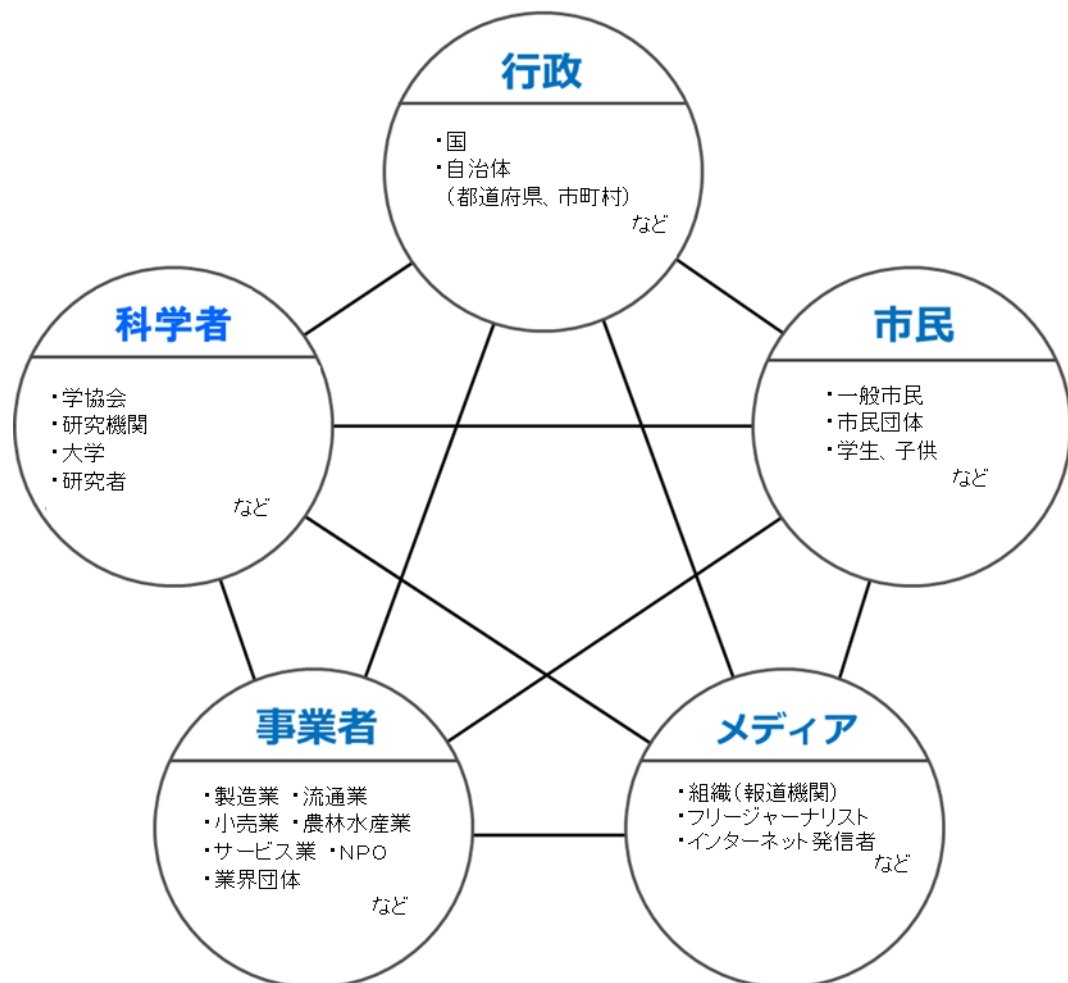


図1 サイエンスアゴラに参加する「多様な関係者」

表1 各企画提供者の参加動機への期待

セクター	想定される参加動機
<p>行政 (国、地方自治体など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学者、事業者、メディア、市民と対話をしながら、共にこれからの政策をつくりたい ・自分たちがどのような仕事をしているかを、科学者、事業者、メディア、市民との対話を通じて理解してもらい、信頼を得たい ・さまざまな現場の人たちの活動から国内外の状況変化を知り、自分たちの役割を認識したい
<p>科学者 (学協会、研究機関、大学、研究者あるいは個人など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の研究を他分野の科学者に理解してもらい、新しい展開に発展させたい ・自分の専門分野に関して、行政、他分野の科学者、事業者、メディア、市民に理解してもらい、応援してほしい ・次世代の科学者を育成し、科学の発展に寄与したい
<p>事業者 (製造業、流通業、小売業、農林水産業、サービス業、NPO、業界団体など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のビジョンを科学者、行政、メディア、市民に見てもらい、共感と仲間を得たい ・自分の事業に関して、行政、科学者、他の事業者、メディア、市民の疑問を知り、それに答えたい ・新たな連携先を探したい
<p>メディア (報道機関、フリージャーナリスト、インターネット発信者など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの社会的な存在価値を具体的に知ってもらいたい ・自分たちが新しく開発したメディアツールを使ってもらえるように紹介したい ・メディアの運営を支えるさまざまな新技術を若い人に知ってもらい、新しい人材を獲得したい ・自分たちが作った記事や番組を教材として活用する方法をデモしたい
<p>市民 (一般市民、市民団体、学生、子供など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が行っている活動について、科学者の意見を聴きたい ・さまざまな人たちが行っている科学に関する活動を知り、自分に関わる活動に生かしたい ・若手の育成に貢献したい

1. 2 サイエンスアゴラのビジョン

サイエンスアゴラの将来あるべき姿を示すものとして、サイエンスアゴラ 2015（10周年記念年次総会）より、ビジョンを次のように設定しています。

つくろう、科学とともにある社会

科学は、産業構造や市民生活に大きく影響を及ぼし、政治、経済、産業、芸術、教育などとともに、社会を構成する要素としてますます重要になってきました。一方、気候変動や感染症の危機、資源や食料の持続可能性、経済格差や少子高齢化などの社会問題が顕著になり、さまざまな社会からの要請が科学のあり方に大きく影響するようになりました。

サイエンスアゴラは、「つくろう、科学とともにある社会」をビジョンとして掲げています。「科学は社会のものである」という認識にもとづき、科学者とその関係者は社会の課題に応える科学技術を誠心誠意発展させるよう努め、科学の世界を変えるだけでなく、社会をさまざまな人たちと共につくる存在でありたいという願いが込められています。

サイエンスアゴラは、このビジョンを共有した人たちが集まり、行動している人がお互いの活動に関心を持ち、仲間を募り、発展させていく場となることを、さらには行動をおこそうとしている人が具体的に一步を踏み出す場にもなることを願っています。

1. 3 サイエンスアゴラ 2016（年次総会）のテーマ

1. 2 で示したビジョンを実現するために、あらゆる人が当面（5年程度を視野に）共有しなければならない課題は、(1)「科学によって変わる社会」、(2)「社会によって変わる科学」、(3)「リスクとの調和」です。これらの課題は、先端科学が社会を大きく変えつつあるという時代への認識だけでなく、社会が科学のかたちを大きく変えつつあるという時代への認識、さらにリスクと利益を調和させられる文化・風土がますます重要になるという時代への認識、この3つの時代認識に立脚しています。

■ 2020年に向けた共有課題 ■

1. 科学によって変わる社会

社会は科学によって変化しつづけています。ICT やバイオテクノロジーなどさまざまな技術の発達で、社会の制度・文化を世界規模で大きく変えつつあります。ときには強い勢いで、ときには静かに、旧習の破壊と新しい文化の創造が進んでいます。科学が社会に与えるインパクトについて、恩恵も脅威も共有し、どのような世界に生きたいかを問い、話し合い、協力を生み出す必要性が今まで以上に高まっています。未来社会への責任ある参加を促す建設的な活動の種をまき、育てましょう。

2. 社会によって変わる科学

科学は社会によって変化します。社会の隅々に浸透した情報ネットワークと地球規模で接続された不確定性

の高い社会問題の増加が、科学という営みに与える影響の大きさは計り知れません。また、科学が社会のさまざまな分野に入り込み、そのかたちを変えています。科学の進め方も変わらなければなりません。キーワードは「オープン＆フラット」です。従来の特定のコミュニティに閉じた科学的な活動が、もっと広く社会からの参画を得て、皆と一緒に考える活動により、新しい価値を創り出す力はますます大きくなります。領域・コミュニティの境界を超えた挑戦的な活動の種をまき、育てましょう。

3. リスクとの調和

リスクを考え、それを克服する努力こそ、新しい社会をきりひらく原動力です。先端科学が未来社会に大きな影響を及ぼすとき、社会が先端科学の現場を変えていくとき、そこに想定されるリスクと利益が必ず存在します。科学に関わるさまざまな人たちがそれぞれの立場や文脈で協力するために、そこに想定されるリスクと利益をどのように調和させればよいのでしょうか。これに取り組むためには、科学的な思考と豊かな感性が求められます。このような活動の種をまき、育てましょう。

これに基づき、サイエンスアゴラ 2016（年次総会）では、以下の 3 テーマを重要視します。なお、これらのテーマと同等の重要性を持つと考える場合、企画提供者は異なるテーマを提案しても構いません。

① **医・食・暮らし**（先端科学が生み出す新しい医・食・暮らし）

先端的な ICT インフラの整備（マイナンバー制度など）は私たちの医療、食、暮らしをどのように変えるのでしょうか。ICT 基盤の発達により、私たちは全国各地域のつながりや、グローバルなつながりを日常生活においてより強く感じます。今年、私たちの生活の根幹を成す医療、食料、暮らしのための科学に関わる新しい取り組みを伝え合い、今後の社会を考えましょう。

② **教育・文化芸術・スポーツ**（教育・文化芸術・スポーツと科学との協働）

2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これに向けて、社会から科学への期待はますます高まっています。科学は、この期待を受けて、教育、文化芸術、スポーツとの協働により、どのように変革されるのでしょうか。協働の最前線で行われている取り組みを伝え合い、今後の社会を考えましょう。

③ **震災復興 5 年**（震災復興 5 年に学ぶこれからの科学の役割）

震災復興はまだ終わっていません。5 年間の取り組みの中で科学は他の関係者たちとどのような協力や成果を生み出してきたのでしょうか。私たちは震災から何を学び、何を克服し、何を解決できなかったのか、また、私たちに残された課題は何でしょうか。東北を中心とした取り組みを伝え合い、今後の社会を考えましょう。

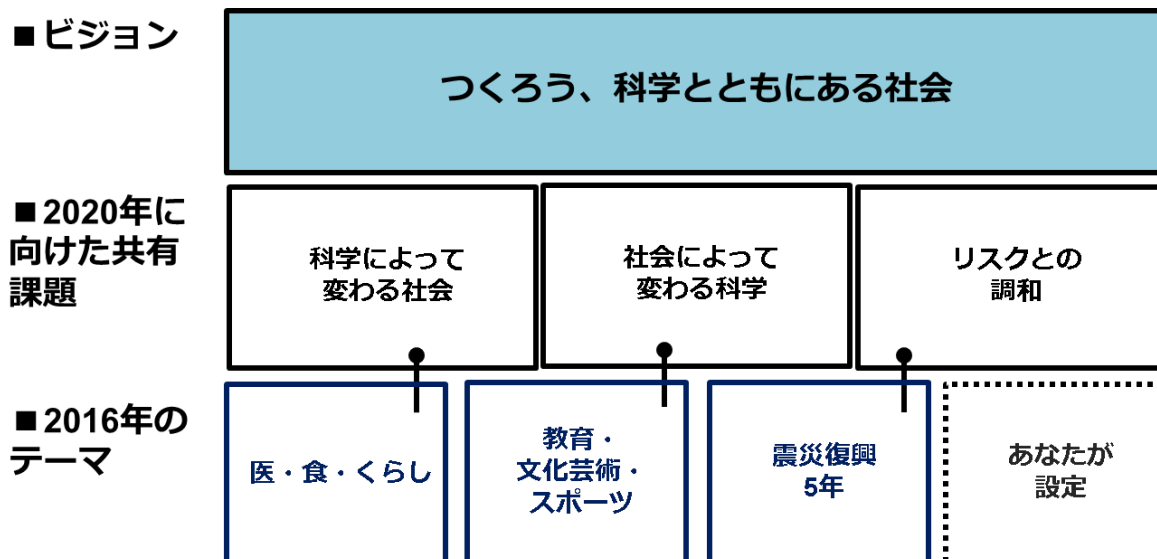


図2 ビジョン、共通課題、2016年のテーマの関係性

1. 4 開催概要

日時	形式(◎:今回公募する企画)							
	開幕セッション	閉幕セッション	キーノートセッション	セッション企画	企画提供者交流企画	ブース企画	ポスター企画	交流会
11月3日(木・祝)終日	○	—	◎	◎	—	◎	◎	—
11月4日(金)終日	—	—	—	◎	◎	◎	◎	—
11月5日(土)終日	—	—	◎	◎	—	◎	◎	○
11月6日(日)終日	—	○	◎	◎	—	◎	◎	—
合計			90			100	10	1

タイムテーブル (予定につき、変更の可能性あります)

	11月3日(木・祝)	11月4日(金)	11月5日(土)	11月6日(日)
10:00	キーノートセッション×2 ブース企画 セッション企画 ポスター企画	ブース企画 セッション企画 ポスター企画	キーノートセッション×2 ブース企画 セッション企画 ポスター企画	キーノートセッション×2 ブース企画 セッション企画 ポスター企画
12:00				
14:00	開幕セッション	企画提供者交流企画 ※時間帯未定	キーノートセッション×2	キーノートセッション×2
16:00				
18:00			交流会	閉幕セッション
20:00				

※サイエンスアゴラ2016(年次総会)の開催期間は11月3日(木・祝)～6日(日)の4日間です。

3日(木・祝)と4日(金)のブース形式およびポスター形式の企画提供希望については、5日(土)、6日(日)の2日間での参加を打診する場合がありますので、あらかじめご了承ください

※11月4日(金)に企画提供者同士の交流企画の開催を予定しています。ぜひご参加ください(交流企画の内容について、応募フォームにてアンケートを実施いたしますのでご意見をお寄せください)。

【形式について】

- ・セッション企画：講演会、シンポジウム、サイエンスショーなど
- ・キーノートセッション：2016（年次総会）を象徴する大型セッション
- ・ブース企画：展示、実験、ワークショップなど
- ・ポスター企画：ポスターによる発表
- ・企画提供者交流企画：企画提供者の活動を紹介し合うことを目的としたワークショップや会議のこと
- ・交流会：企画提供者のネットワーキングを目的とした懇親会

入場料： 無料（材料費などの実費は一部有料）

会場： 東京・お台場地域（地図参照・予定）

日本科学未来館、産業技術総合研究所臨海副都心センター、東京都立産業技術研究センター、フジテレビ湾岸スタジオ、東京国際交流館、シンボルプロムナード公園



図3 サイエンスアゴラ会場図

2. 応募要項

2.1 応募資格

法人格の有無は問わず、あらゆる個人、グループ・団体（NPO 法人、任意団体、研究機関、大学など）、どなたでも応募できます。

※所属するグループ・団体名で応募される場合

- ・企画提供者はグループ・団体の責任者の承諾を事前に得てください
- ・企画提供者(個人) とその所属グループ・団体に意見の相違があった場合、グループ・団体を優先します

2.2 実施日程

	セッション形式	ブース形式	ポスター形式
3日(木・祝)	①10:00-12:30 (13:00-17:00 開幕セッション)	10:00-12:00 ※1	10:00-12:00 ※1
4日(金)	①10:00-12:30 ②13:00-15:30	10:00-17:00 ※1	10:00-17:00 ※1
5日(土)	①10:00-12:30 ②13:00-15:30	10:00-17:00	10:00-17:00
6日(日)	①10:00-12:30 ②13:00-15:30 (16:00-18:00 閉幕セッション)	10:00-16:00	10:00-16:00

※1 サイエンスアゴラ2016（年次総会）の開催期間は11月3日（木・祝）～6日（日）の4日間です。3日（木・祝）と4日（金）のブース形式およびポスター形式の企画提供希望については、5日（土）、6日（日）の2日間での参加を打診する場合がありますので、あらかじめご了承ください

・企画形式の詳細についてはP29-35参照

・6日（日）の16:00から閉幕セッションを実施する予定です。サイエンスアゴラの目指す姿や今後の取り組みについての発表や、それに関連したディスカッションが予定されています。できるだけ参加いただきますようお願いいたします

2.3 実施会場

基本的に前回と同様の会場規模を想定しています。

【サイエンスアゴラ2016（年次総会）会場施設】

- ・日本科学未来館 ・産業技術総合研究所臨海副都心センター ・東京都立産業技術研究センター
- ・東京国際交流館 ・シンボルプロムナード公園 ・フジテレビ湾岸スタジオ

※実施会場の希望は受け付けしかねます

※採択者の方には結果通知とあわせてご案内いたします

2. 4 会場利用料

会場利用料は無料です。

※材料費、会場までの交通費、宿泊費など一切の費用は企画提供者で負担ください

※会場備え付けの備品は無償です。それ以外に必要な機材・備品は、事前申請の上、事務局より有料で調達するか、各企画提供者で調達しお持込みください

※事務局で提供する機材・備品は有料となり、事前申請・申込みが必要です

※大量の電気の使用などもすべて有料になります

※飲食物の提供、インターネット接続などはすべて申請または届出が必要になります

* P23-25 参照

2. 5 応募方法

応募は、**オンライン応募フォーム**から行ってください。

サイエンスアゴラ 2016（年次総会）公式ウェブサイトから「応募フォーム」にアクセス後、それぞれの項目に必要な事項を記入ください。

URL <http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>

アクセス後の手順

①	オンライン応募フォームへアクセスします
②	新規の方は会員登録を行ってください ※2015年に参加された方は、前回は応募時の会員情報でログイン可能です
③	順番に従って必要事項を記入ください ※巻末の資料2（企画応募フォーム）をご覧ください
④	内容をできるだけ詳しく記入ください
⑤	確認画面で記入内容を確認し、完了ボタンを押して送信します

オンライン応募フォーム登録における注意事項

- ・企画提供者、企画タイトルの表記は統一ルールを設けています（P28 資料 1 参照）
- ・登録する内容は、選考・会場設計に用いる重要な情報となりますので、具体的に記入ください
- ・一度送信した内容は、応募期間内は「マイページ」から自身で確認・修正ができます
- ・登録内容記入中、途中でページを閉じてしまうとデータは保存されませんのでご注意ください

2. 6 選考・結果通知

応募いただいた企画のうち、サイエンスアゴラにふさわしくないとと思われるものは除外します。

（例：反社会的活動を容認するようなもの、宗教に関わるもの、特定の人物に対する誹謗中傷など）
従来より多くの企画出展を可能にするため、調整により企画形式を変えていただく可能性があります。

※その際、関連した他の企画と合同で実施する条件を提示させていただく場合があります

会場の容量を超える公募があった場合、サイエンスアゴラ年次総会の開催趣旨により合致する企画を事務局で選ばせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

採否については、6 月末に事務局から申請者宛にメールで通知いたします。

企画の詳細に関しては採択後にお伺いいたします。

※その際、応募時の狙いや内容から大幅な乖離があると判断された場合には、事務局から調整させていただきます

2. 7 選考基準

応募された企画内容は、以下の基準に基づき選考いたします。

〔企画の内容〕

（1）社会とともにあること、社会のためにあること

社会の中にある科学技術について、よりよい社会のために企画されたものであること
社会との関係性がより具体的で明確なもの

（2）科学技術に関すること

科学技術の発展や利活用に関する内容を含む企画であること
波及効果が大きいものや時宜を得たもの

（3）自発的であること

企画提供者およびその関係者が、自発的に企画して取り組んでいるものであること
問題設定が具体的で、その活動に必然性があるもの

※サイエンスアゴラの有無に関わらず取り組む必要があるもの

（4）多様な人とのつながりを大切にすること

人とのつながりを大切にすること

つながる対象者が、分野、年代、セクター、国籍といった観点から幅広いもの

(5) 公開できること

企画は各種メディアを通じて広く公開されます

このため、企画が公開できることを条件とします

厳密には、企画のエッセンスが公開されれば一部非公開であっても構いません

〔企画の実現性〕

企画を実施するにあたり、必要な組織、人員を配置した体制が構築され、無理なく運営できる実施体制が整い、実施する活動の安全に十分に配慮がなされているもの、企画の説明が具体的なもの

※準備・撤収はすべて企画提供者で完了するようにお願いします

2. 8 応募から採択・実施までのスケジュール

企画応募

応募締め切り	2016年6月1日（水）12:00（正午）
---------------	------------------------------

※期日を過ぎると応募ができません

※締め切り間際になるとアクセスが集中してつながりにくくなることも予想されますので、余裕をもって応募してください

選考結果発表

結果通知	2016年6月末（予定）
-------------	---------------------

会場の容量を超える公募があった場合、サイエンスアゴラ年次総会の開催趣旨により合致する企画を事務局で選ばせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※決定した企画をもとに事務局が会場計画を検討します

※配置計画の際に企画内容の変更を相談させていただく場合があります

応募・選考・実施までの流れ（予定）

月		内容
4月	下旬	4月22日（金） 公募説明会 15:00-16:30(予定) 一般向け（日本語による説明会） 17:00-18:30(予定) 大使館等向け（英語による説明会） 会場：JST 東京本部別館 1F ホール(東京都千代田区五番町7 K's 五番町)
6月	上旬	6月1日（水）12:00（正午） 応募締め切り
	中旬	選考・プログラム調整
	下旬	結果連絡 ※メールにて採択可否を通知
7月	下旬	企画提供者説明会（会場下見）
8月	上旬	企画提供者マニュアル配布
	中旬	プログラムおよびウェブサイト掲載情報の提出 備品、電気などの有料申請の提出
9月	上旬	サイエンスアゴラ 2016(年次総会)ウェブサイトへの企画内容掲載
11月	上旬	11月3日（木・祝）～6日（日） サイエンスアゴラ 2016（年次総会）開催

2. 9 応募形式

応募形式は、「セッション形式」「ブース形式」「ポスター形式」のいずれかとなります。

※企画内容にふさわしい形式をお選びください。ただし、従来より多くの企画出展を可能にするため、調整により企画形式を変えていただく可能性があります

※形式は企画内容を制限するものではありません

形式	タイプ	概要・用途	
①セッション形式	ホール 会議室 特設ステージ	ホールまたは会議室などを使った形式です 講演会、シンポジウム、サイエンスショーなどの実施に ふさわしい形式です	
実施イメージ			
			
②ブース形式	フロア 屋外	一定のスペースを壁面などで区切った形式です 展示、実験、ワークショップ等の実施にふさわしい 形式です	
実施イメージ			
			
③ポスター形式	フロア	A0 サイズ（84.1cm×118.9cm）程度のポスター や図表を掲出する形式です 来場者と気軽にコミュニケーションが図れる形式です	
実施イメージ			
			

応募形式①：セッション形式

概要・用途

ホールまたは会議室などを使った形式です
講演会、シンポジウム、サイエンスショー、映像上映などの実施にふさわしい形式です

利用時間

1 枠/2.5 時間（準備～受付 30 分、実施 90 分、撤去 30 分）までとします。（最大 2 枠まで）
※利用時間 ①10:00～12:30 ②13:00～15:30（3 日（木・祝）は①のみ）
※プログラム実施時間 ①10:30～12:00 ②13:30～15:00

基本仕様

タイプ	規模 / 収容人数 / 基本設備
ホール	大規模企画向け 収容人数：200 名～300 名 基本設備：映像、音響、照明
	中規模企画向け 収容人数：100 名～200 名 基本設備：映像、音響、照明
会議室	大規模企画向け 収容人数：100 名～150 名 基本設備：映像、音響
	中規模企画向け 収容人数：50 名～100 名 基本設備：映像、音響
	小規模企画向け 収容人数：20 名～50 名 基本設備：映像、音響
特設ステージ	小規模企画向け 収容人数：20 名～50 名 基本設備：映像、音響

実施想定数

セッション形式	約 90 セッション ※1 枠/2.5 時間 ※開幕・閉幕・キーノートセッションを含む
---------	---

留意事項

- ※会場備え付けの備品は無料です。それ以外に必要な機材・備品は、事務局への事前申請の上、有料で調達するか、各企画提供者で調達しお持込みください
- ※事務局で提供する機材・備品は有料となり、事前申請・申込みが必要です
- ※大量の電気の使用などもすべて有料になります
- ※飲食物の提供、インターネット接続などはすべて申請または届出が必要になります * P23-25 参照
- ※同時通訳が必要な場合、会場が限定されます
(同時通訳機材は、日本科学未来館では有料、国際交流館では無料、オペレーターはいずれも有料です。同時通訳者は企画提供者が手配ください)

【キーノートセッションの公募について】 セッション形式①の特別形式

キーノートセッションとは

サイエンスアゴラのキーノートセッションは、サイエンスアゴラ 2016（年次総会）を象徴する、サイエンスアゴラのビジョンを具現化したセッションです。サイエンスアゴラに集う多様な方々の注目を広く集め、来場者とともに議論し、その成果を社会に発信していく強い意図を持った企画を求めます。

公募概要

サイエンスアゴラ 2016 年次総会では、11月3日（木・祝）・5日（土）・6日（日）に開催される「キーノートセッション」（最大 10 件を予定）の企画提供者（主催者）を募集いたします。

サイエンスアゴラは、全国各地・世界各国で行われている「**科学と社会の関係深化**」につながる**対話・協働**の裾野を広げ、社会全体と科学との関係を自律的に深めていく未来を目指しています。サイエンスアゴラを体現する 5 要件（本要項 P4）に合致し、サイエンスアゴラのビジョン（P7）を体現する、魅力あるセッション企画の応募をぜひお願いします。

概要・用途

未来館ホールまたは国際交流会議場で開催します
講演会、シンポジウム、サイエンスショー、映像上映などの実施にふさわしい形式です

利用時間

1 枠/2.5 時間（準備～実施～撤去まで）とします。最大 2 枠までとさせていただきます
※利用時間 ①10:00～12:30 ②13:00～15:30（3日（木・祝）は①のみ）
※プログラム実施時間 ①10:30～12:00 ②13:30～15:00

基本仕様

タイプ	規模 / 収容人数 / 基本設備
ホール	大規模企画向け 収容人数：200名～300名 基本設備：映像、音響、照明

キーノートセッション主催のメリット

- 大ホール（200人規模の会場）を優先的に配置いたします
- サイエンスアゴラを体現する企画として、JST が制作するウェブサイトでの事前告知や特集組み、制作物（チラシ・プログラムなど）で優先的にピックアップして掲載いたします
また、年次総会終了後の開催報告も、ウェブサイトにて大々的に掲載いたします
- 海外から登壇者を呼ぶ場合は、JST から同時通訳設備（機材・オペレーター・通訳者）を無償で提供いたします
- 会期中、会場内の控室や事前打ち合わせ用の会議室を優先的に用意、無償で提供いたします
- 事務局にてセッションの記録動画を撮影し、後日ウェブサイトにて公開いたします
- 11月5日（土）夜に JST が主催する企画提供者交流会に、主催者および登壇者の方々をご招待します

応募条件・応募方法

- ① サイエンスアゴラが目指すビジョン【対話・協働による共創】を体現する企画であること（P4 の5要件に準じた企画であること）

※「対話」とは多様な立場の人たちが自らの言葉で語り合うこと、「協働」とは、これらの人々が互いを尊重して自らの行動を選択し、政策形成、課題解決、未来社会の創造へとつなげようと協力し合うことを指します

- ② サイエンスアゴラ 2016（年次総会）において、セッション形式の企画提供者であること
- ③ 2016 年の 3 テーマのいずれかに関連する企画、または 3 テーマと同等の重要性を持つと考えるテーマに関連する企画であること（P8 参照）
- ④ 多様な登壇候補者で構成され、多様な来場者が見込めるセッションであること
（専門分野・セクター・国籍・性別・年齢層など）

※望ましい例

- ・専門分野：自然科学、人文社会科学が含まれる
- ・所属セクター：アカデミア、産業界、NPO、行政、メディアからバランスよく招聘する
- ・性別：男性・女性のバランスが良い
- ・国籍：国内だけでなく、海外からの登壇者が含まれる
- ・年齢層：シニアだけでなく、若手（30代）の登壇者が含まれる

- ⑤ 200 名程度の集客が見込めること。また、集客のための広報活動が実施できること
- ⑥ JST のウェブサイトでの情報発信や制作物に掲載するための企画情報（原稿・写真素材等）を、事務局が設定する期限までに提供できること
- ⑦ 会期までに、事務局あるいは運営施工業者との事前打合せが実施できること
- ⑧ 当日の会場受付や登壇者のアテンドなど、セッションを主催するにあたる諸業務を主体的に行えること
- ⑨ 記録動画のウェブ公開が可能であること
（動画撮影は事務局が行います。撮影した動画の内容チェックおよび加工・編集などの確認作業にご協力ください）
- ⑩ 年次総会終了後、【報告書（3000 字程度・写真貼付あり）】を事務局が設定する期限までに提出できること

※採択後、事務局より開催日時やテーマ等の調整をお願いすることがあります。

以上をふまえ、応募フォームに必要項目を記入のうえ送信ください。

皆さまからのたくさんの応募をお待ちしています。

応募形式②：ブース形式

概要・用途

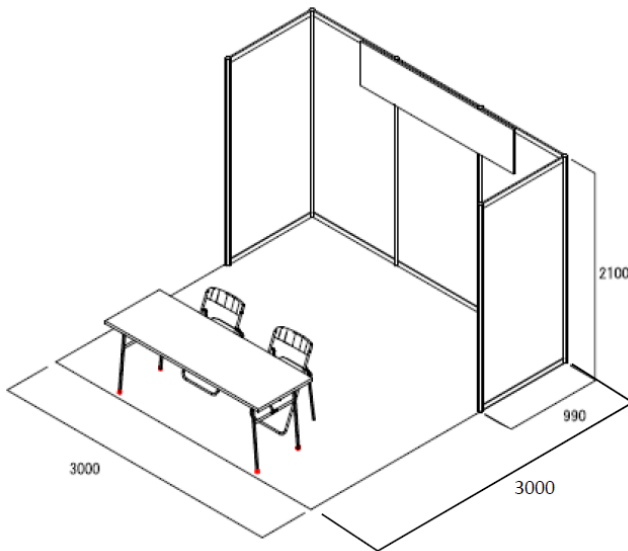
一定のスペースを壁面などで区切った形式です
展示、実験、ワークショップなどの実施にふさわしい形式です

利用時間

5日（土）・6日（日）の2日間通しを基本とし、最大4日間の企画提供が可能です。
※各日の開催時間は、P12 参照

基本仕様

スペースサイズ 幅 3m×奥行き 3m×高さ 2.1m
仕様：背面、両側（システムパネル）、サイン看板（企画タイトル、企画提供者名）
※天井をふさいで暗室をつくるなどの企画は行えません



準備物	仕様	数量
パネル	背面/側面	1式
サイン	パネル	1式
机	1.8m×0.45m	1本
椅子	パイプ椅子	2脚
電気コンセント	容量 1.5KW	2口

実施想定数

ブース形式	約 100ブース ※1ブース 幅 3m×奥行き 3mの場合 ※施設内フロア、屋外を想定
--------------	---

留意事項

※会場備え付けの備品は無償です。それ以外に必要な機材・備品は、事務局への事前申請の上、有料で調達するか、各企画提供者で調達しお持込みください

※事務局で提供する機材・備品は有料となり、事前申請・申込みが必要です

※大量の電気の使用などもすべて有料になります

※飲食物の提供、インターネット接続などはすべて申請または届出が必要になります * P23-25 参照

応募形式③：ポスター形式

概要・用途

A0 サイズ（84.1cm×118.9cm）程度のポスターや図表を掲出する形式です
来場者と気軽にコミュニケーションが図れる形式です

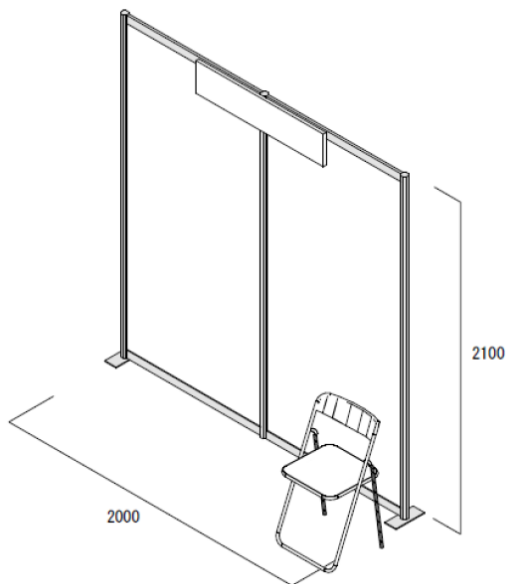
利用時間

5日（土）・6日（日）の2日間通しを基本とし、最大4日間の企画提供が可能です。
※各日の開催時間は、P12 参照

基本仕様

スペースサイズ 幅 2.0m×奥行き 1.5m×高さ 2.1m

仕様：背面（システムパネル）、サイン看板（企画タイトル、企画提供者名）



準備物	仕様	数量
パネル	背面/側面	1式
サイン	パネル	1式
椅子	パイプ椅子	1脚

実施想定数

ポスター形式	約 10ブース ※1ブース 幅 2.0m×奥行き 1.5mの場合
---------------	--

留意事項

※原則としてポスターや図表以外の備品などの設置・配置は行えません

※電気コンセントは設置されていません

2. 10 事前申請/制限事項

企画提供内容で以下の事項に該当する場合は、応募フォームに詳細を明記し必ず事前申請を行ってください。

※申請内容によっては許可できない場合があります

※一部、企画提供者自身で管轄の消防署などに届出が必要になる場合があります

申請項目一覧

形式によって届出項目が異なります

	項目	セッション形式	ブース形式	ポスター形式
①	火気・熱源・劇物・危険物（液体窒素含む） ・大量の水の使用	必要	必要	—
②	大量の電気の使用	必要	必要	—
③	生き物の持ち込み	必要	必要	—
④	来場者からの参加費の徴収	必要	必要	必要
⑤	飲食物の提供	必要	必要	—
⑥	物品の販売	必要	必要	必要
⑦	音・光・においなどの発生	必要	必要	—
⑧	インターネット接続	必要	必要	必要
⑨	同時通訳	必要	—	—
⑩	備品・機材などの追加	採否確定後	採否確定後	採否確定後 (要相談)

申請項目詳細

	項目	内容	申請など
①	火気・熱源・劇物・危険物（液体窒素含む） 大量の水の使用	<p>会場にて実験・実演（体験含む）などを実施する際、高電圧、高圧ガス、火気、床を濡らす可能性のある大量の水、薬品などは使用できません</p> <p>※これらの使用が不可避である場合は、応募フォームに詳細（使用理由、使用物、使用量など）を明記してください</p> <p>※応募前に相談ください</p> <p>※使用物によっては、企画提供者自身で管轄の消防署などに届出が必要になる場合があります</p>	<p>応募前相談 要申請 要届出</p>
②	大量の電気の使用	<p>電気製品などを使用する際、100V、1000W を超える可能性がある場合、応募フォームに使用量を明記してください</p> <p>※基本電源：コンセント 2 口、1.5KW まで</p> <p>※基本電気容量を超える場合は有料</p>	<p>要申請 有料</p>
③	生き物の持ち込み	<p>会場に生き物を持ち込んでの企画を検討されている場合は、応募前に相談のうえ、応募フォームに詳細（種別、数など）を明記してください</p> <p>※夜間は会場内に保管できません</p>	<p>応募前相談 要申請</p>
④	来場者からの参加費の徴収	<p>実費の範囲内に限り、来場者から参加費を徴収しても差し支えありません</p> <p>徴収予定がある場合は、応募フォームに詳細（徴収金額など）を明記してください</p>	<p>要申請</p>
⑤	飲食物の提供	<p>飲食物の提供を希望される場合は、応募フォームに詳細（提供物、数量、提供方法など）を明記してください</p> <p>※企画提供者自身で管轄の保健所に届出が必要になる場合があります</p>	<p>要申請 要届出</p>

⑥	物品の販売	<p>営利を目的にしない範囲に限り物販が可能です。 応募フォームに詳細（物販物、数量、予定数など）を明記してください</p> <p>※会議室やブースでの販売はできません ※会場の決められた場所、時間を厳守ください</p>	要申請
⑦	音・光・においなどの発生	<p>音・光・においなどが発生するおそれがある場合、応募フォームに詳細（種類、量など）を明記してください</p> <p>※内容によっては許可できない場合もあります</p>	要申請
⑧	インターネット接続	<p>インターネット接続が必要な場合は、応募フォームに詳細（接続方法など）を明記してください</p> <p>※企画提供者自身で手配、費用を負担ください</p>	要申請 要手配 有料
⑨	同時通訳	<p>同時通訳機器の使用を希望される場合は、応募フォームに明記ください</p> <p>※同時通訳者は企画提供者が手配、費用を負担ください</p>	要申請 有料
⑩	備品・機材などの追加	<p>事務局で提供する追加の備品・機材が必要な場合は、別途申込みが必要になります</p>	採否確定後 有料

2. 1 1 応募に関する注意事項 他

(1) 安全管理

企画実施にあたり、常に管理者としての注意を払い、事故防止に十分留意してください
各企画において常時 1 名以上人員を配置し安全を確保してください
※事故・トラブルがあった場合、会場施設は責任を負いません

(2) 設営・撤去時間

セッション形式

：与えられた時間の枠内で、準備～実施～撤去を行ってください

ブース形式・ポスター形式

：設営時間 9:00-10:00 撤去時間 17:00-18:00

※ 6 日（日）のみ閉幕セッション終了後 1 時間

(3) 事前参加登録

事前に各企画の参加者を受付しても差し支えありませんが、当日の参加枠や見学スペースなどの確保に配慮ください

(4) 記録協力

開催期間中、主催者などがインターネットや雑誌などでの公表を目的とした記録（動画・静止画）や中継（映像・テキスト）を行う場合があります

※企画提供者は、登壇者、参加者へ周知し、著作権・肖像権などについて了承を得てください

(5) 調査協力

主催者が行う調査（アンケート調査や追跡調査）にご協力ください

恒例の「来場者特別賞」の授賞を予定していますので投票にご協力ください

(6) 調整協力

企画全体のバランスおよび内容の充実を図るために、複数提案機関の連携、企画形式および企画内容の変更をお願いする場合があります

※採択決定後の実施計画の変更は認められません

会場の配置は、各企画のテーマや内容、特性に応じて事務局が決定いたします。会場の希望は受け付けしかねますのであらかじめご了承ください。

(7) 企画実施の中止

以下にあてはまる企画は、採択決定後であっても中止していただきます

- ① 営利を目的とする企画
- ② 政治的、宗教的アピールのみを目的とする企画
- ③ 特定の団体の構成員・会員のみを参加対象とする企画
- ④ 実現性が極めて低いと判断される企画
- ⑤ その他主催者がふさわしくないと判断する企画

(8) その他

企画提供者自らイベントの情報発信、会場への集客活動を積極的に行ってください

来賓の見学や報道機関関係者の取材への協力をお願いすることがあります

安全かつ円滑な運営のため、トラブルなどが生じた場合にはサイエンスアゴラ運営事務局の指示に従い、ご協力をお願いします

企画実施にあたり発生したごみは各自お持ち帰りください

主催者は、来場者・企画提供者などに対するイベント傷害保険に加入します

3. その他

3. 1 個人情報の取り扱い

(1) 応募の際に記入いただく連絡先などの個人情報は、サイエンスアゴラ実施に関わる事務連絡や案内のみに使用し、本人の許可無く第三者へ提供することはありません

ただし、応募時に同意いただいた場合は、次の用途に利用させていただきます

- ① JST の科学コミュニケーション関連事業の各種案内など
- ② 関連機関などからの科学コミュニケーション関係のご案内など
- ③ JST の科学コミュニケーション事業の調査・研究などへの活用
- ④ 報道機関などへの連絡先の開示

その他の事項については、国立研究開発法人科学技術振興機構のプライバシーポリシーを準用し、適切に取り扱います

※科学技術振興機構のプライバシーポリシー：

<http://www.jst.go.jp/privacy.html>

(2) 登録には、外部サイト「企画管理システム」を利用します。同サイトのプライバシーポリシーは以下の URL で確認し、同意の上登録ください。

※サイエンスアゴラ企画管理システムプライバシーポリシー：

<http://www.shanon.co.jp/privacy/>

※サイエンスアゴラ企画管理システムの利用規約

http://www.shanon.co.jp/support/downloadDocument/SMP_TermsOfUse.pdf

3. 2 お問い合わせ

(1) 本案内と公式ウェブサイトを確認いただいた上で、不明な点は電子メールにてお問い合わせください
(電子メール：agora@jst.go.jp)

(2) 緊急のお問い合わせは、電話 03-5214-7493 でもお受けいたします

担当： 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
サイエンスアゴラ事務局 小林、鈴木、今田

資料 1

資料 1：企画タイトル・企画提供者名の表記は統一ルール

サイエンスアゴラにおいては、以下のようなルールを設けています。

ルールに沿っていないものは、サイエンスアゴラ事務局が適宜修正しますのでご了承ください。

ルール（1）

法人格（国立大学法人、株式会社、特定非営利活動法人など）はすべて省略

ルール（2）

法人名・機関名と部署名の間には半角スペース挿入

※部署名が複数続く場合は、見やすさの観点から適宜、半角スペースを挿入する

ルール（3）

カタカナ・英数字はすべて半角で記入

※スペースは半角

記号はすべて全角で記入

※丸括弧（ ） かぎ括弧「 」 中点・句点。読点、感嘆符！疑問符？チルダ～ など

ルール（4）

企画タイトルにサブタイトルがある場合の表記

※主タイトル 半角スペース チルダ サブタイトル チルダ

例) 光の色彩 ～視覚で楽しむ炎色反応～

ルール（5）その他

- ① タイトル全体がかぎ括弧「」などで囲まれている場合は、とる
- ② 一重括弧なしに二重括弧が使われている場合は、一重括弧に変更
- ③ 複数の企画提供者が同列で列挙する場合は、読点で区切る
- ④ 感嘆符、疑問符の後ろは、原則、半角スペースを空ける

資料 2

資料 2 : 企画応募フォーム

オンライン応募フォームに登録する内容は、会場設計に用いる重要な情報となりますので、具体的に記入ください。

必須項目についてはウェブサイトの応募フォームに記述してあります。

オンライン応募フォームから送信した内容は、提出締切日までであれば、「マイページ」から自身で確認・修正ができます。締切日以降は、修正も閲覧もできませんので、送信の内容は企画提供者自身で管理ください。

登録内容記入中、途中でページを閉じてしまうとデータは保存されませんのでご注意ください。

1 企画につき 1 フォームの作成が必要です。企画提供者が同一の場合でも、複数の企画を計画されている場合は、それぞれ別のフォームで応募ください。

〔1〕 企画提供者について

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
1	企画提供者の名称	企画提供者の名称を記入ください（全角 25 字以内）。この名称がプログラムなどへ掲載されます。字数に超過がある場合、掲載時に削除される場合があります。	テキスト	
2	企画提供者の種別	今回の応募が、個人またはグループ・団体かを選んでください。	ラジオボタン	○個人 ○グループ・団体
3	企画提供者の属性	企画提供者の属性を選択肢から 1 つ選んでください。該当がない場合は「その他」を選択し、具体的に記入ください。	ラジオボタン	○研究者・大学・研究機関・学協会など ○政策決定者・政府・地方公共団体・行政機関など ○科学館・博物館など ○企業・営利団体など ○教育関係者・学校・教育委員会など ○メディア関係者など ○NPO・ボランティア（個人・団体）など ○その他（ ）

4	責任者氏名	企画提供の責任者の氏名を記入ください。 採否通知など、サイエンスアゴラ事務局からの文書通知は責任者宛となります。	テキスト	
5	責任者所属	企画提供の責任者の所属を記入ください。 正式な法人名（法人格を含む）を記入ください。	テキスト	
6	責任者役職	企画提供の責任者の役職を記入ください。	テキスト	
7	実績	過去にサイエンスアゴラでの企画提供の実績があれば、その年を選んでください。	チェックボックス	<input type="checkbox"/> 2006 <input type="checkbox"/> 2007 <input type="checkbox"/> 2008 <input type="checkbox"/> 2009 <input type="checkbox"/> 2010 <input type="checkbox"/> 2011 <input type="checkbox"/> 2012 <input type="checkbox"/> 2013 <input type="checkbox"/> 2014 <input type="checkbox"/> 2015
8	日頃の活動状況	日頃の科学コミュニケーション活動の内容や頻度をお聞かせください（全角 300 字以内）。	テキスト	

〔2〕 企画の内容について

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
9	企画提供の目的	サイエンスアゴラ 2016（年次総会）に企画を提供する一番の目的を 1 つ選んでください。	ラジオボタン	<input type="radio"/> 伝えたい <input type="radio"/> 聴きたい <input type="radio"/> 創りたい
10	企画提供の動機・背景	サイエンスアゴラ 2016（年次総会）に企画提供する動機・背景をわかりやすく記入ください（全角 300 字以内）。	テキスト	

11	企画提供の目標	企画提供を通じて目指す目標（得たい付加価値）を記入ください（全角 300 字以内）。 ※サイエンスアゴラは、年次総会での成果が、年間をととした活動に生かされることを期待しています。 企画提供を通じて達成したい目標（サイエンスアゴラの開催当日だけでなく、日頃の活動につながるもの）を記入ください。	テキスト	
12	テーマとの関係	サイエンスアゴラ 2016（年次総会）は、テーマの設定が必須です。 特に、3つのテーマを重要視しています。該当するテーマを1つ選んでください。 自ら設定を選択する場合は、3つのテーマと同等の重要性を持つと考えるテーマを記入ください。また、その理由を13に記入ください。	ラジオボタン	<input type="radio"/> 医・食・くらし <input type="radio"/> 教育・文化芸術・スポーツ <input type="radio"/> 震災復興 5 年 <input type="radio"/> 自ら設定（ ）
13	自ら設定したテーマについて	自ら設定したテーマが、3つのテーマと同等の重要性を持つと考える理由を記入ください（全角 200 字程度）。	テキスト	
14	企画タイトル	企画のタイトルを記入ください（全角 25 字以内）。この名称がプログラム等へ掲載されます。字数に超過がある場合、掲載時に削除される場合があります。	テキスト	
15	企画の内容	企画内容をわかりやすく記入ください（全角 300 字以内）。	テキスト	
16	企画の対象	企画が対象とする相手として、特に重視する者 1 つを選んでください。	ラジオボタン	<input type="radio"/> 小中学生 <input type="radio"/> 高校・高専・大学生 <input type="radio"/> 大学院生 <input type="radio"/> 行政関係者 <input type="radio"/> 研究者・専門家 <input type="radio"/> 事業者 <input type="radio"/> メディア関係者 <input type="radio"/> その他
17	実現性	必要な組織、人員配置、役割を記入ください。	テキスト	

18	関係する 団体	企画提供に関係する団体・関係機関などがあれば、記入 ください（共催・後援・協賛・協力など）。	テキスト	
19	参考 ウェブサイト	応募いただく企画の参考になるウェブサイトがあれば、アドレ スを記入ください。	テキスト	

〔3〕 企画の日程と形式について

20	日程	実施可能な日程をお選びください。 ※複数選択が可能です。 ※調整をお願いする場合があります。	チェッ クボ ックス	<input type="checkbox"/> 11月3日（木・祝） <input type="checkbox"/> 11月4日（金） <input type="checkbox"/> 11月5日（土） <input type="checkbox"/> 11月6日（日）
21	形式	企画の形式を1つ選んでください。	ラジオボタ ン	<input type="radio"/> セッション形式 <input type="radio"/> ブース形式 <input type="radio"/> ポスター形式

〔3〕-1 企画の形式：セッション形式を選択された方

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
22	タイプと規模	タイプと規模を1つ選んでください。 ※調整をお願いする場合があります。 ※展示など、必要なスペースがあればそれを見越した規模 を選んでください。 ※ホールに関しては展示スペースはありません。	ラジオボタ ン	<input type="radio"/> ホール 大規模企画向 け（200-300名） <input type="radio"/> ホール 中規模企画向 け（100-200名） <input type="radio"/> 会議室 大規模企画 向け（100-150名） <input type="radio"/> 会議室 中規模企画 向け（50-100名） <input type="radio"/> 会議室 小規模企画 向け（20-50名） <input type="radio"/> 特設ステージ 小規模 企画向け（20-50名）
23	プログラム 時間枠	実施可能な時間枠を選んでください。 ※実施可能な時間枠の基本は2.5時間となります（設 営～受付30分、実施90分、撤去30分）。 ※調整をお願いする場合があります。 ※複数枠を希望される場合は24にその理由を記入くださ い。	ラジオボタ ン	<input type="radio"/> 10:00～12:30 枠 <input type="radio"/> 13:00～15:30 枠 <input type="radio"/> どちらでもよい <input type="radio"/> 複数枠を希望

24	複数枠の希望理由	基本の実施時間は 90 分となりますが、それを超える場合は理由を記入ください。	テキスト	
25	実施内容	企画の中で、メインとなる実施内容を選んでください。 ※選択肢以外の場合は「その他」を選択し、具体的に記入ください。	ラジオボタン	<input type="radio"/> シンポジウム <input type="radio"/> トークセッション <input type="radio"/> サイエンスショー <input type="radio"/> ワークショップ <input type="radio"/> サイエンスカフェ <input type="radio"/> 映像上映 <input type="radio"/> その他 ()
26	キーノートセッションへの立候補	<p>サイエンスアゴラ 2016（年次総会）では、「キーノートセッション」を募集します。</p> <p>応募いただく企画を「キーノートセッション」として開催したい方は、応募ください。</p> <p>※主催のメリットや公募概要は募集要項（P19）を確認ください。</p> <p>※開催日時やテーマなどを調整させていただく場合があります。</p> <p>※2016 年の 3 テーマのいずれかに関連する企画、または 3 テーマと同等の重要性を持つと考えるテーマに関連する企画であることが条件です。</p> <p>※原則「200 名程度の集客」が見込まれることを目安とします。</p> <p>※企画、運営、集客が自身で可能であることが条件です。</p>	チェックボックス	<input type="checkbox"/> キーノートセッションに応募する

〔3〕-2 企画の形式：ブース形式を選択された方

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
27	規模	<p>基本は 1 ブースとなります（幅 3.0m×奥行き 3.0m×高さ 2.1m）</p> <p>※調整をお願いする場合があります。</p> <p>※2 ブース以上を希望する場合は、28 に理由を記入ください。</p>	ラジオボタン	<input type="radio"/> 1 ブース（基本） <input type="radio"/> 2 ブース以上
28	規模	<p>2 ブース以上を希望する場合は、希望するブース数とその理由を記入ください。</p> <p>※調整をお願いする場合があります。</p>	テキスト	

29	実施内容	<p>企画の中で、メインとなる実施内容を教えてください。</p> <p>※選択肢以外の場合は「その他」を選択し、具体的に記入ください。</p> <p>※屋外ブース希望の方はその他に記入ください。調整をお願いする場合があります。</p>	ラジオボタン	<input type="radio"/> 上演・展示 <input type="radio"/> 展示・実験・説明 <input type="radio"/> 実験・工作 <input type="radio"/> ワークショップ <input type="radio"/> サイエンスカフェ <input type="radio"/> その他（ ）
----	------	---	--------	---

〔3〕-3 企画の形式：ポスター形式を選択された方

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
30	実施内容	<p>ポスターの内容を記載ください。</p> <p>※基本は1ブース（幅 2.0m×奥行き 1.5m×高さ 2.1m）となりますが、調整をお願いする場合があります。</p>	テキスト	

〔4〕特別事項

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
31	特別事項	<p>事前申請事項に該当するものがあれば選択の上、32 に具体的な内容を記入ください。</p> <p>※選択肢以外の場合は「その他」を選択し、具体的に記入ください。</p>	チェックボックス	<input type="checkbox"/> 火気 <input type="checkbox"/> 熱源 <input type="checkbox"/> 劇物 <input type="checkbox"/> 液体窒素 <input type="checkbox"/> 大量の水 <input type="checkbox"/> 大量の電気 <input type="checkbox"/> 生き物 <input type="checkbox"/> 参加費 <input type="checkbox"/> 飲食物 <input type="checkbox"/> 物販 <input type="checkbox"/> 音 <input type="checkbox"/> 光 <input type="checkbox"/> におい <input type="checkbox"/> ネット接続 <input type="checkbox"/> 同時通訳 <input type="checkbox"/> その他（ ）
32	特別事項の詳細、その他特記事項	<p>31 で特別事項を選択した場合は、その具体的な内容を詳細に記入ください（火器・熱源・劇物の種類、水・電気の予定使用量、参加費の内容と徴収予定額、生き物・飲食物・物販の種類や内容、数量、音・光・においの種類など）。</p> <p>また、全体を通じて、サイエンスアゴラ事務局に申請、連絡する事項があれば、こちらに記入ください。</p>	テキスト	

〔5〕企画提供者交流企画について

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
33	企画提供者 交流企画 アンケート1	11月4日（金）の日中に、企画提供者のための交流企画を予定しています。ご意向を選択ください。	ラジオボタン	○自身に合う交流企画であれば参加したい ○11月4日（金）はそもそも年次総会に参加できない
34	企画提供者 交流企画 アンケート2	交流企画に参加したいを選んだ方は、参加する目的を選んでください。	チェック ボックス	<input type="checkbox"/> 情報交換がしたい <input type="checkbox"/> 仲間・相談相手を増やしたい <input type="checkbox"/> 共同研究パートナーを見つけたい <input type="checkbox"/> 人脈を広げたい <input type="checkbox"/> その他（ ）

〔6〕個人情報の取り扱いについて

NO	項目	内容	タイプ	選択肢
35	JST からの ご案内	応募にあたり登録いただいた個人連絡先に、JST 事業の各種ご案内などをお送りしてもよろしいですか。	ラジオボタン	○はい ○いいえ
36	関連機関 からの ご案内	応募にあたり登録いただいた個人連絡先に、他機関などから依頼された科学コミュニケーションに関する各種ご案内などをお送りしてもよろしいですか。	ラジオボタン	○はい ○いいえ
37	調査研究 目的の利用	応募にあたり登録いただいた個人情報を、JST 科学コミュニケーション事業の調査研究などの目的に利用してもよろしいですか。	ラジオボタン	○はい ○いいえ
38	プレスへの 情報提供	企画が採択された場合、報道機関などからの問い合わせに対して、応募にあたり登録いただいた個人連絡先および企画の内容を提供してよろしいですか。	ラジオボタン	○はい ○いいえ
39	確認	募集要項に記載の内容について了承し、応募いただける場合は、「はい」をチェックしてください。	ラジオボタン	○はい